

世界の民族楽器

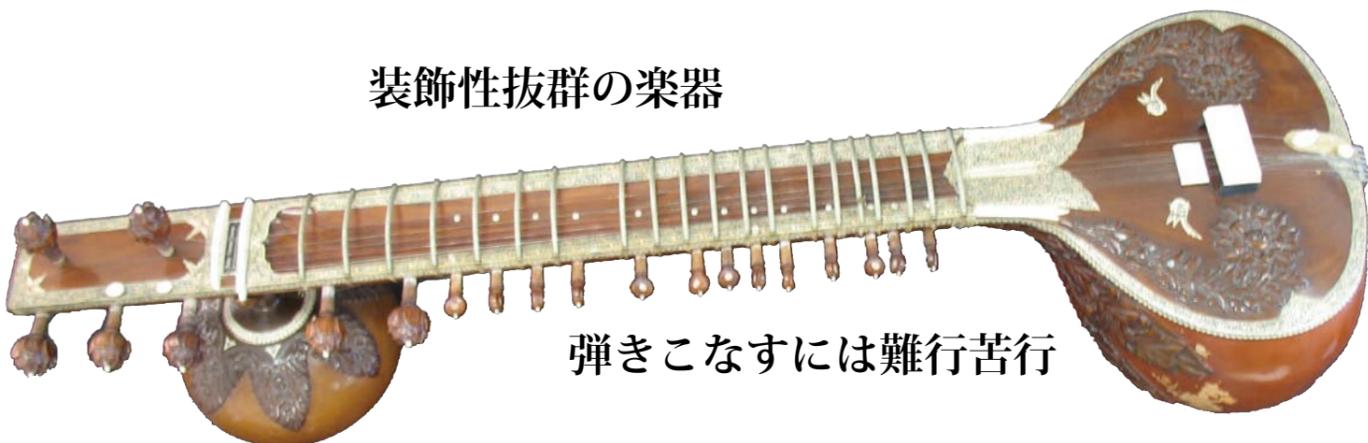
①シタール（インド）

瀬古康雄

世界中の民族楽器が通販や町の雑貨屋さんで買え、民族楽器の教室も身近なものとなってきました。そこで、この連載では、見たり聴いたりする機会の多くなった民族楽器の代表選手や、少し音を出せれば、「どこでもドア」のように異空間に連れて行ってくれる民族楽器の優れたものを選んでみました。

のための弦が2本あり、右手の人差し指にはめたピックで演奏します。残りの13弦は共鳴弦です。共鳴弦は、主弦の響きに共鳴して、独特の余韻やうなりを響かせ、部屋全体を倍音で包んでくれます。シタール独特のピヨンという音は、弦を横方向に引っ張って出します。仏教では、お経を節回し豊かに歌う声明という声楽が

装飾性抜群の楽器



弾きこなすには難行苦行

まずは、インドのシタール。ビートルズのジョージ・ハリソンがこれを弾いたので、ご存知の方も多と思います。干瓢^{かんびょう}の実を利用した共鳴胴を二つ持っていて、世界各地にある瓢箪^{ひょうたん}楽器の中でも最大級の大きさです。表面には薔薇や孔雀が精巧に彫られていて、装飾性も抜群の楽器です。インド旅行の記念にと買って帰る人も多く、実は私もそのうちの一人なのですが、これを弾きこなすのは本当に難しい、と知るのは後々のことで、難行苦行を強いという点でも、さすがにインド起源の楽器だと思えます。

木製の長いさおの上には20本もの金属弦が張られています。旋律弦が5本、リズムとドローン（持続音）

ありますが、これと同じことを器楽でやっているのがシタール演奏です。古代声明にルーツがあるので、シタールといえはお経を聞いているような気分になるのにもそれなりの理由があるのです。

松江市八雲町にある熊野大社では、毎年9月に「庭火祭・国際民族音楽祭 IN 八雲」というかがり火コンサートが開かれます。筆者はその企画を担当していますが、第1回庭火祭はインド古典音楽で、私の師であるアミット・ロイさん（写真）に出演してもらいました。シタールのすばらしい演奏は延々数十分に及びました。長時間の即興演奏をどうして間違わないのだろうか、後で尋ねると、その答えは「神様がついてくれているから」というものでした。自分の考えや技巧を捨てて、瞑想状態で弾くとのこと。ついで、演奏のために座禅瞑想をしますか、と問うと、ヨーガも瞑想もしない。練習そのものがヨーガだし、演奏そのものが瞑想だからね、という答えが返ってきました。

民族楽器というのは、それぞれの地域の伝統文化が結晶化したものです。シタールという一つの楽器にも、インド文化の真髄が見て取れるように思います。（せこ・やすお／哲学）



のんびり雲 創刊準備号 2006

目次

巻頭エッセイ◎松江を想う 佐野史郎 1

特集◎スローな文化を探して

妖怪と遊ぶ——「遠野物語」を訪ねて—— 2

スローなプーにしてくれ
——クマのプーさんのスローライフ—— 6

小さな木造校舎——塩津小学校を訪れて—— 10

木桶の中でスローに熟成
——カネモリ醤油（松江市）—— 14

商店探訪①辰巳屋商店（鳥取県境港市） 18

街のおもしろ文化観察学入門 22

やっぱり晴耕雨読が夢だなあ 24

カタカナで英語を遊ぶ 26

日本神話・アイヌ神話・出雲神話と『もののけ姫』 30

日本語でも異文化体験 34

<コラム>記号論の危機!? 36

宍道湖のライバル 十三湖のシジミ伝説 37

私が英語を読む理由 38

夏の昼下がりのあるパーティー 39

移動の文化 41

<短編小説>兄の線香花火 42

<まんが>出雲の阿国座 45

紙の宝石——エクスリブリス（蔵書票）雑感—— 49

<本の紹介>池本喜巳『近世店屋考』 50

筑紫哲也『スローライフ』 51

マイ・オーギー体験記 52

<コラム>モロッコにて 国王の死に遭遇して 55

氷の文化誌 かき氷の謎を追って 56

生活環境デザイン作品集（建築・椅子） 60

世界の民族楽器①シタール（インド）（裏表紙裏）